

経営協議会（22-第1回）議事要旨

日 時 平成22年6月7日（月） 15時00分～17時05分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 浅野幹雄、生方眞哉、小川悦雄、榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、横山裕行
高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、今年度の経営協議会委員の紹介があり、各委員から挨拶があった。

続いて、議長から、議長代行について説明があり、木下理事が指名された。

説 明

- 1 名古屋工業大学の概要について
議長から、説明1-1、1-2及び1-3資料に基づき説明があった。
- 2 名古屋工業大学の予算について
前田理事から、説明2資料に基づき説明があった。

議 事

議題1 第1期中期目標期間の評価について（審議）

議長から、平成21年度の業務実績報告書を6月末までに文部科学省に提出する旨の説明があった後、梅原理事から、議題1資料及び議題1説明資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2 学長選考会議委員の選出について（審議）

議長から、議題2資料に基づき説明があり、審議の結果、浅野幹雄委員、生方眞哉委員、榊直樹委員、水谷四郎委員、水谷尚美委員、横山裕行委員の6名が学長選考会議委員として選出された。

議題3 平成21年度決算について（審議）

財務チームリーダーから、議題3資料及び議題3説明資料1、2及び3に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

その際、以下のような意見交換があった。

（質問）社債は確実に返金されるのか。購入に当たっては、どのような判断をしたのか。

（回答）購入した社債については、中央銀行が発行しているため、政府の保障

がついている。さらに、短期間で運用できるものの中から最適なものを選択した。

(質問) 国立大学法人の財源の多くは税金であるため、国民が納得できる使い方をして、成果を上げる必要がある。

(回答) 本学では、新鋭機器や材料関係の装置を購入する等、重点的に対応した。

(質問) 類似10大学比較財務指標での学生当たりの教育経費が、他の10大学と比べて低いが、これは学生当たりの職員数等との連動なのか。

(回答) 教育経費積算の考え方は、各大学により相違があることから、他大学の考え方も調査したい。

議題4 平成23年度概算要求について(審議)

前田理事から、議題4資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、概算要求についての最終的な取扱いについては、学長に一任された。

議題5 授業料免除の方針について(報告)

鵜飼副学長から、議題5資料に基づき報告があった。

その際、以下のような意見交換があった。

(質問) 全額免除の対象者と半額免除の対象者の判定基準はあるのか。不許可者をなくすため、半額免除枠を増やす等、様々なバリエーションがあると思う。

(回答) 本学では、全額免除に手厚い方針をとっているが、今後、他大学も参考にして、配分額の見直し等を検討する。

議題6 その他

(1) 平成22年度大学院工学研究科(博士前期課程)入試について(報告)

議長から、議題6-1資料に基づき報告があった。

その際、以下のような意見交換があった。

(質問) 昨年の夏の入試のことが、なぜ今年の4月になって明らかになったのか。

(回答) 4月に問題及び解答例を公開したためである。入試は8月に終わっているため、問題と解答の公表時期を早めるよう検討している。

(2) 教員再雇用制度について(報告)

議長から、議題6-2資料に基づき報告があり、次回以降の経営協議会で審議予定である旨の発言があった。

(3) 経営協議会のスケジュールについて（報告）

議長から、議題6-3資料に基づき報告があり、次回の経営協議会の日程が確認された。

配付資料

説明資料

- 1 名古屋工業大学の概要、名古屋工業大学を取り巻く状況及び名古屋工業大学における第2期中期目標期間の取組みについて
- 2 運営費交付金交付額推移及び平成22年度収入・支出予算

議題資料

- 1 平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）
- 2 国立大学法人名古屋工業大学学長選考会議規則及び平成22年度学長選考会議委員名簿
- 3 監査報告書、平成21年度財務諸表、財務諸表附属明細書、決算報告書、事業報告書、財務指標年次別推移グラフ（抜粋）及び類似10大学比較財務諸表
- 4 平成23年度概算要求一覧
- 5 授業料免除の方針
- 6-1 平成22年度大学院工学研究科（博士前期課程）入試概要、関連する新聞記事
- 6-2 教員再雇用制度の経緯、概要、国立大学法人名古屋工業大学再雇用職員就業規則（抄）及び国立大学法人名古屋工業大学特命教員の給与に関する要項
- 6-3 経営協議会スケジュール

経営協議会（22-第2回）議事要旨

日 時 平成22年7月22日（木） 15時00分～17時00分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 生方眞哉、榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、横山裕行
高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、前回6月7日開催の議事要旨について確認があり、今後、公式ホームページへ掲載する旨の発言があった。

議 事

議題1 国立大学法人をとりまく財政状況について（報告）

前田理事から、議題1資料に基づき政府が策定した「財政運営戦略」の内容及び国立大学法人に対する予算削減の影響等について報告があった。

議題2 教員の再雇用について（審議）

教員再雇用センター長である木下理事から、本学の教員の再雇用に関するこれまでの審議経過及び現状について議題2資料に基づき説明があり、あわせて、前田理事から、再雇用に係る人件費に関する説明があった。

引き続き、質疑が行われ、その結果、教員の再雇用に係る給与等について、見直しを図ることが承認された。

主な質疑は以下のとおり。

（質問）昇給は、63歳の定年まで続くのか。

（回答）定期昇給幅を抑えてはいるが、定年まで続くシステムである。

（質問）大学独自で給与の設定をすることは可能か。

（回答）可能であるが、現行給与は、国家公務員に準じているので、大学が独自で高額に設定しても、国からの配分予算額が増加することはないため、差額は、大学が負担することとなる。

（質問）定年を63歳から65歳に延長したとき、昇給は続けることができるのか。

（回答）国からの配分予算は、法人化時の基準が適用されることから、法人化の際に、既に定年を65歳としていた大学については、65歳までの昇給分が国から配分される。しかし、法人化後に定年延長を行った場合の延長に係る昇給分については、大学が負担することとなる。

（質問）他大学と比較して、再雇用時の給与水準が低いと思われる。

(回答) 独立行政法人通則法では、社会一般に対して適合したものとなるように定めることとされており、このことも念頭に考えていく必要がある。

(質問) この問題を議論するにあたっては、財源等が確定しなければならないのではないか。

(回答) 国の予算の状況を踏まえ、改めて審議していただきたいと考えている。

(意見) 再雇用教員の給与を増額することについて反対はしないが、その結果、生じる影響については、分析が必要である。他大学との比較のみではなく、本学としての考え方を明確にする必要がある。

議題3 その他

特になし

配付資料

- 1 国立大学法人をとりまく財政状況概要及び概算要求基準骨子決定に関する新聞記事
- 2 教員の再雇用概要

経営協議会（22－第3回）議事要旨

日 時 平成22年8月24日（火） 13時00分～14時30分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 生方眞哉、榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、横山裕行
高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、前回7月22日開催の議事要旨について確認があり、了承された。

議 事

議題1 国立大学法人をとりまく財政状況等について（報告）

前田理事から、議題1－1資料に基づき、平成23年度文部科学省における概算要求組替え基準等について報告があった後、人事チームリーダーから、議題1－2資料に基づき、平成22年度人事院給与勧告の概要について報告があった。

主な質疑は以下のとおり。

（質問）国立大学法人運営費が10%削減された場合、人材育成については、特別枠において復活できるという解釈でよいか。

（回答）文部科学省全体予算のうち、必ずしも運営費交付金が10%削減されるわけではない。一方、運営費交付金が削減された場合に、特別枠により、同じ費目で取り戻すことは厳しいのではないかと考えている。

（質問）運営費交付金が10%削減されることになった場合、名古屋工業大学として、対応方針を何か考えているのか。

（回答）教育に関する経費については、減らさないという方針を決めている。そのため、非常に厳しい状況ではあるが、職員の人件費及び研究費の削減が必要になると思う。詳細については、今後の状況を踏まえて考えていきたい。

（質問）人事院勧告に対する政府の対応は、いつ頃決まるのか。

（回答）昨年度の人事院勧告に係る対応については、12月のボーナスの支給にあわせて、11月30日に法改正が行われたと承知している。今回においても11月頃までには国の対応等が決まることになるとは考えている。

議題2 平成21年度決算の承認について（報告）

前田理事から、議題2資料に基づき、平成21事業年度財務諸表について6月30日付けで文部科学大臣から承認された旨の報告があった。

議題3 教員の再雇用について（審議）

教員再雇用センター長である木下理事から、議題3-1資料に基づき、教員再雇用制度の見直し案について説明があった後、前田理事から、財源の見通しについて説明があった。

続いて、人事チームリーダーから、議題3-2資料に基づき、国立大学法人名古屋工業大学再雇用職員就業規則の一部改正について説明があった。

引き続き、質疑が行われ、その結果、教員再雇用制度の見直し案及び規則の一部改正案について、原案どおり承認された。

主な質疑は以下のとおり。

（質問）資料で示されたとおり、再雇用制度の給与額について、時間単価及び年額の修正を行うということであるが、実際の教員への適用はどのようなになるのか。

（回答）資料に示している金額は、特命教授が週30時間勤務した場合の金額であり、特命准教授や特命助教との違いや、勤務時間によっても変動することになる。

（質問）人件費が毎年2%削減されたとして、平成27年度まで教員の再雇用を続けられるということによいか。

（回答）そのとおりである。仮に3%削減ということになれば、職員の給与体系まで踏み込んで考える必要が出てくる。

（質問）国の再雇用職員と同様の基準で算出して、時間単価を決定したという説明があったが、大学の教員は、高度な知的業務に携わっているため、多少上回ったとしても社会通念上、許容されるのではないか。

（回答）国家公務員の給与法の中に、ご質問の趣旨を反映した、大学教員に相当する「教育職俸給表」が規定されており、この支給基準を用いて算出しているものである。

（質問）時間単価は、これで決定というわけではなく、人事院勧告等の状況によって見直すことになるのか。

（回答）そのとおりである。

議題4 その他

特になし

配付資料

- 1 国立大学法人をとりまく財政状況概要及び平成22年度人事院給与勧告の概要
- 2 平成21事業年度財務諸表承認通知及び財務諸表
- 3 教員の再雇用制度の見直し案及び国立大学法人名古屋工業大学再雇用職員就業規則一部改正案

経営協議会（22-第4回）議事要旨

日 時 平成22年9月6日（月） 15時00分～17時20分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 浅野幹雄、生方眞哉、榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、
高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、前回8月24日開催の議事要旨について確認があり、了承された。

議 事

議題1 国立大学法人をとりまく財政状況等について（報告）

前田理事から、議題1資料に基づき、平成23年度国立大学法人概算要求の構成、運営費交付金等の要求状況及び概算要求・要望額の積算内訳等について報告があった。

議題2 平成23年度概算要求について（報告）

前田理事から、議題2資料に基づき、平成23年度概算要求特別経費等について、特別経費は新規、継続等を合わせて8件、施設整備は1件の要求事項がある旨の報告があった。

議題3 平成22年度資金運用計画について（審議）

財務チームリーダーから、議題3資料に基づき、平成22年度資金運用計画案及び本学の資金運用状況について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

主な質疑は以下のとおり。

（質問）資金運用アドバイザーなどは置いているのか。

（回答）置いていないが、取引のある数社の証券会社から適宜アドバイスをいただいている。委員の方々からもアドバイス等があれば、お願いしたい。

（質問）満期を待たずに解約し、次のものへ乗り換える可能性もあるのか。

（回答）現状では考えていないが、場合によってはあり得る。

議題4 国立大学法人評価委員会のヒアリングについて（報告）

都合により、次回以降に報告することとした。

議題5 その他

高圧コンデンサーの紛失について（報告）

議長から、本学で保管していたPCBが入った高圧コンデンサーが紛失したことについて、紛失の経緯及び管理状況並びに今後の対応等の報告があった。

続いて、議長から、直ちに外部有識者で構成する外部調査委員会及び学内者に外部有識者を含めて構成する再発防止対策委員会を設置し、高圧コンデンサーの追跡調査及び再発防止策の検討等を行う旨の説明があった。

配付資料

- 1 平成23年度国立大学法人概算要求に関する資料
- 2 平成23年度概算要求特別経費等一覧
- 3 平成22年度資金運用計画
- 4 平成21事業年度に係る業務実績、中期目標期間に係る業務実績のヒアリング提出資料及び中期目標管理システム概要

経営協議会（22－第5回）議事要旨

日 時 平成22年10月28日（木） 15時00分～17時00分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 生方眞哉、水谷四郎、水谷尚美、横山裕行、
高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、前回9月6日開催の議事要旨について確認があり、了承された。

議 事

議題1 高圧コンデンサー紛失の経過報告について（報告）

前田理事から、議題1資料に基づき、外部調査委員会及び再発防止対策委員会を設置したことなど、高圧コンデンサー紛失後の対応等について、報告があった。

議題2 「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントについて（報告）

前田理事から、議題2資料に基づき、平成23年度予算概算要求における特別枠要望の状況等に関し、学内で実施した説明会の概要及び卒業生、保護者等への周知の状況について報告があった。

議題3 国立大学法人評価委員会の評価結果（原案）について（報告）

梅原理事から、議題3資料に基づき、第1期中期目標期間確定評価のスケジュール及び平成21年度に係る業務実績に関する評価結果（原案）について、報告があった。

議題4 平成22年度防災・消防訓練の実施について（報告）

財務チームリーダーから、議題4資料に基づき、11月10日に実施する防災・消防訓練について、今年度は消防署などの行政のほかに地域住民やボランティアと連携して実施するとの報告があった。

議題5 その他

（1）国家公務員の給与改定に伴う本学の給与見直しについて（審議）

前田理事から、議題5－（1）資料に基づき、平成22年度人事院給与勧告の概要について、12月1日までに国会で審議及び決定が行われ、法律が改正さ

れる場合に備えて、事前に審議を行いたい旨の説明があった。

また、法律改正が行われる場合、本学職員の給与改定とあわせて8月24日の経営協議会で承認を得た再雇用教員の給与額についても、国家公務員の給与改定に準じて改定を行う旨の説明があった。

議長から、本件の事前審議は、書面で行いたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 平成22年度政府補正予算について（報告）

前田理事から、議題5-(2)資料に基づき、平成22年度政府補正予算案の状況について報告があった。

最後に、議長から、名古屋工業大学憲章の第1次案について、報告があった。

配付資料

- 1 高圧コンデンサー紛失の経過報告
- 2 「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントについて
- 3 平成21年度業務実績及び第1期中期目標期間確定評価概要、国立大学法人評価委員会からの評価結果（原案）通知及び中期目標管理システム概要
- 4 平成22年度防災・消防訓練実施概要
- 5-(1) 平成22年度人事院給与勧告概要
- 5-(2) 平成22年度政府補正予算について

参考資料：名古屋工業大学憲章（案）

経営協議会（22-第6回）議事要旨

書面会議

回答期限 平成22年11月22日（月）

回答委員 浅野幹雄、生方眞哉、小川悦雄、榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、
横山裕行、
高橋実、梅原秀哲、木下隆利、前田千尋、増田秀樹、北村正

議 事 本件に係る議案については、原案どおり承認された。

議題 国立大学法人名古屋工業大学役員給与規則等の一部改正について（審議）

本年11月1日に、8月10日付け人事院勧告（俸給の引き下げ、期末・勤勉手当の引き下げ等）どおり給与改定を行う旨の閣議決定が行われたことに伴い、国会に給与法の改正法案が提出され、国会での審議を経て実施された場合、国家公務員に準拠する本法人の役員、職員及び再雇用職員の俸給等を引き下げることにする。

改定規定（案）

- ・国立大学法人名古屋工業大学役員給与規則新旧対照表（案）
- ・国立大学法人名古屋工業大学職員給与規程新旧対照表（案）
- ・国立大学法人名古屋工業大学再雇用職員就業規則新旧対照表（案）

経営協議会（22－第7回）議事要旨

日 時 平成22年12月16日（木） 15時00分～17時25分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 浅野幹雄、生方眞哉、榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、
高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、前々回10月28日開催及び前回11月22日開催の議事要旨について確認があり、了承された。

議 事

議題1 平成22年度学内補正予算について（審議）

前田理事から、議題1資料に基づき、平成22年度の補正予算編成方針（案）の内容及び平成22年度政府補正予算により措置された事項について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

主な質問は以下のとおり。

（質問）外部資金に係る事業費予算については、当該資金獲得のための申請書の作成等の業務を支援するなど、産学官連携センターのスタッフ等の充実に配慮すべきではないか。

（回答）今指摘された支援については、産学官連携センター及び研究支援チームに外部資金担当の教職員を配置し対応しているが、今後のスタッフの充実については検討したい。

議題2 平成23年度の予算状況について（報告）

前田理事から、議題2資料に基づき、元気な日本復活特別枠要望に関する評価の概要及び結果等について報告があった。

議題3 書面会議の審議結果について（報告）

「役員給与規則等の一部改正」

議長から、第6回経営協議会において、本学の給与規則等の改正について諮ったところ全員賛成で承認され、併せて11月26日に国会において国家公務員給与法の改正が議決されたことから、12月1日付けで給与規則等の改正を行ったことについて報告があった。

議題4 高圧コンデンサー紛失の調査結果等について（報告）

前田理事から、議題4資料に基づき、外部調査委員会における追跡調査結果の概要及び再発防止対策委員会によって取りまとめられた再発防止策等について報告があった。

議題5 その他

(1) 御器所キャンパス内異臭物散布について（報告）

増田副学長から、議題5-(1)資料に基づき、本学で発生した異臭物散布について、異臭物の発生状況、被害状況及び対応内容等について報告があった。

(2) 名工大・名市大合同テクノフェアについて（報告）

木下理事から、議題5-(2)資料に基づき、11月17日に開催した名工大・名市大合同テクノフェアの実施内容及び成果等について報告があった。

(3) 就職支援に関する取組み状況について（報告）

鵜飼副学長から、議題5-(3)資料に基づき、11月17日にOBトップセミナーを開催し、現在企業の役員を務めている本学OB2名による講演を実施したこと、毎年開催している企業研究セミナーの概要及び学生の就職状況等について報告があった。

(4) 地域住民との防災訓練について（報告）

財務チームリーダーから、議題5-(4)資料に基づき、11月10日に実施した地域住民との防災訓練の内容及び成果等について報告があった。

(5) 施設の有効活用について（報告）

議長から、議題5-(5)資料に基づき、課外活動施設、学生寮及び福利厚生施設について監事監査が行われ、当該施設の現状及び見直し等の検討状況について報告があった。

配付資料

- 1 平成22年度名古屋工業大学補正予算案
- 2 平成23年度の予算状況について
- 4 高圧コンデンサーの紛失調査結果概要及び再発防止策（抜粋）
- 5－（1） 御器所キャンパス内異臭物散布について
- 5－（2） テクノフェア開催概要
- 5－（3） 就職支援に関する取組み状況
- 5－（4） 地域住民との防災訓練
- 5－（5） 施設の活用状況

経営協議会（22－第8回）議事要旨

日 時 平成23年2月4日（金） 15時00分～16時40分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、
増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、前回12月16日開催の議事要旨について確認があり、了承された。

議 事

議題1 平成22年度本学の第2次補正予算について（審議）

財務チームリーダーから、議題1資料に基づき、平成22年度第2次補正予算の編成方針として、第1次補正後における収入・支出予算の見直し内容及び第2次補正予算に計上した事業経費について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

主な質問は以下のとおり。

（質問）入札は、法人化前にはなかったのか。

（回答）法人化前からあったが、最近特に競争が厳しいため、入札により購入価格が安くなる場合もあり、積み上がると相当な金額の節約となる。

議題2 平成23年度本学への予算内示について（報告）

前田理事から、議題2資料に基づき、平成23年度の運営費交付金予定額概要、文部科学省予算案のポイント及び政策コンテストの結果について報告があった。

議題3 平成23年度本学の予算編成方針について（報告）

前田理事から、議題3資料に基づき、平成23年度の予算編成の基本的な考え方、大学運営予算及び外部資金関係予算の配分方針等について報告があり、意見を求めた。

議題4 その他

（1）本学における最近の研究成果について（報告）

木下理事から、議題4－（1）資料に基づき、本学の教員による研究成果の事

例等について報告があった。

(2) 対話型学内情報案内システムについて (報告)

財務チームリーダーから、議題4-(2)資料に基づき、本学の教員が開発した音声技術を用いた対話型学内情報案内システムについて報告があった。

配付資料

- 1 平成22年度名古屋工業大学第2次補正予算(案)
- 2 平成23年度予算の内示状況について
- 3 平成23年度名古屋工業大学予算編成方針
- 4-(1) 名古屋工業大学における最近の研究成果
- 4-(2) 対話型学内情報案内システム

経営協議会（22-第9回）議事要旨

日 時 平成23年3月24日（木） 15時00分～17時00分
場 所 名古屋工業大学本部棟会議室A
出席者 生方眞哉、小川悦雄、榊直樹、水谷四郎、水谷尚美、横山裕行、
高橋実、木下隆利、梅原秀哲、前田千尋、増田秀樹、北村正
議 長 高橋学長

議事に先立ち、議長から、前回2月4日開催の議事要旨について確認があり、了承された。

議 事

議題1 平成23年度年度計画（案）について（審議）

梅原理事から、議題1資料に基づき、平成23年度年度計画（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

主な質問は以下のとおり。

（質問）複線教育という取り組みは、本学が初めてなのか。

（回答）学校教育法に大学の修業年限は4年間と定められているため、このような取り組みをする大学はなかったと承知している。現状では、本学入学生のうち60%近くの学生が、入学時に大学院進学を考えていることから、6年間でしっかりとした教育を行うべきではないかと考えている。

（質問）特に文系学部の学生から、内定を得るためには、海外留学をしている余裕がないという声を聴く。学生が6年間落ち着いて勉学に励むことができるような環境を作ることが必要ではないか。

（回答）本学では、海外留学を後押しするプログラムを環境材料工学科と情報工学科で行っており、多くの学生が積極的に参加している。6年一貫教育で育成された学生の良さを企業にも理解してもらうことで、社会全体に向けてのアピールにつながると考えている。

議題2 平成23年度予算配分について（審議）

前田理事から、議題2資料に基づき、平成23年度の大学運営予算、外部資金関係予算及び施設整備費補助金予算の配分について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

主な質問は以下のとおり。

(質問) 平成23年度の予算編成において、重視した点は何か。

(回答) 人材育成という観点から、教育及び研究の維持・確保を図るため、教育基盤経費と研究経費について、平成22年度と同額を計上した点である。

(質問) 運営費交付金は、毎年どの程度削減されているのか。

(回答) 運営費交付金は、毎年約1%削減されている。

(質問) 授業料収入の減額は、第二部の減員以外にどのような理由があるのか。

(回答) 授業料免除枠を拡大したため、授業料収入が減額している。

(質問) 授業料免除枠を拡大した理由は何か。

(回答) 学部・大学院に係る授業料免除率を引き上げるとする政府の方針に基づくものである。

議題3 平成23年度入試状況について(報告)

中村副学長から、議題3資料に基づき、平成23年度一般入試志願状況、他大学との比較等について報告があり、併せて、震災の影響で後期日程入試を受験できなかった学生に追試験を実施し、無事終了した旨の報告があった。

議題4 就職をとりまく状況等について(報告)

鵜飼副学長から、議題4資料に基づき、新卒者の就職に関する時期についての国立大学協会の考え方及び本学の就職状況等について報告があった。

議題5 名古屋市立大学との連携について(報告)

議長から、議題5資料に基づき、名古屋市立大学との連携実績、共同教育課程の検討状況などについて報告があった。

議題6 その他

(1) 第1期中期目標期間における財務レポートの作成について(報告)

前田理事から、議題6-(1)資料に基づき、平成21年度財務諸表の概要、第1期中期目標期間中の財務内容の推移状況等について報告があった。

(2) 東北地方太平洋沖地震における対応について(報告)

議長から、議題6-(2)資料に基づき、東北地方太平洋沖地震に対する対策チームを設置し、救援物資の搬送や義援金箱の設置を行ったことなどについて報告があった。

配付資料

- 1 平成23年度年度計画（案）
- 2 平成23年度名古屋工業大学予算（案）、予算編成方針及び事項別予算額配分表（案）
- 3 平成23年度一般入試志願状況について
- 4 就職をとりまく状況等について
- 5 名古屋市立大学との連携について
- 6－（1） 国立大学法人名古屋工業大学財務レポート2010
- 6－（2） 東北地方太平洋沖地震への対応

参考 平成23年度経営協議会開催予定日